教科目名　環境システム　(Environmental System)

学科名・学年　：　都市システム工学科　5 年
単位数など　：　選択　1 単位　（後期 1 コマ，授業時間 23.25 時間）
担当教員　：　高見徹

授業の概要

環境問題の解決に寄与することが，将来都市システム工学科を卒業する学生に課せられる使命の一つである．本講義では，環境問題の歴史，地球温暖化をはじめとする様々な地球環境問題（エネルギー，大気・水・土壌，生物多様性，廃棄物，化学物質）のメカニズムと対策，ならびに現在の環境政策に関する世界各国の動きについて，その概要を解説する．

達成目標と評価方法　　**大分高専目標(B2)**

(1) 地球環境問題の概要を理解できる．（定期試験）
(2) 地球環境を物理，化学，生物学的に理解できる．（定期試験）
(3) わが国と世界の環境政策を理解できる．（定期試験）
(4) 環境保全とエネルギー，資源，廃棄物，化学物質との関係を理解できる．（定期試験）

回	授業項目	内容	理解度の自己点検
1 2 3 4 5 6 7	(1) 地球環境問題と持続可能な開発 (2) 環境問題の歴史 (3) 地球温暖化 (4) 大気・水と環境 (5) 大地と環境 (6) 生物多様性 (7) 環境政策	○9 つの地球環境問題の概要と環境保全の思想を理解できる． ○わが国の公害および世界の環境問題の歴史を理解できる． ○地球温暖化のメカニズムとその影響と対策を理解できる． ○大気・水・土壌の環境を理解できる． ○生物多様性保全の意義と重要性を理解できる． ○わが国と世界の環境政策を理解できる．	【理解の度合い】
8	後期中間試験	○達成目標(1)～(3)を理解できる．	【試験の点数】　　点
9 10 11 12 13 14	後期中間試験の解答と解説 (8) エネルギー (9) 廃棄物 (10) 化学物質 (11) 持続社会と資源循環 (12) まとめ	○分からなかった部分を理解する． ○環境とエネルギーの関係を理解できる． ○廃棄物と化学物質の環境影響と対策を理解できる． ○持続可能な社会の実現と資源利用の在り方を理解できる．	【理解の度合い】
15	後期期末試験		【試験の点数】　　点
	後期期末試験の解答と解説	○分からなかった部分を理解する．	

履修上の注意	板書せずにパワーポイントを用いて講義する．	【総合達成度】
教科書	後藤尚弘・九里徳泰編著，「基礎から学ぶ環境学」，朝倉書店．	
参考図書	環境省編，「環境白書・循環型社会白書／生物多様性白書（平成 26 年度版)」，日経印刷株式会社．	
自学上の注意	授業の進行が早いので，教科書の復習が必要である．また，教科書のみならず，参考図書等を利用して情報収集することを薦める．	
関連科目	衛生工学，環境保全工学（専攻科）	
総合評価	達成目標の(1)～(4)について 2 回の定期試験で評価する． 総合評価＝0.4×中間試験＋0.6×期末試験 総合評価が 60 点以上を合格とする．再試験は学年末に 1 回実施する．	【総合評価】　　点